

ボーリング柱状図

調 査 名











ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	NO.1-4(副堰堤)		調査位置						北緯	36° 32' 33.0000 "		
発注機関	栃木県鹿沼土木事務所				調査期間	2007-12-26 ~ 2008-03-21				東経	139° 41' 31.0000 "	
調査業者名			主任技師				現地代理人	コ 鑑 定 者		ボーリング責任者		
孔口標高	161.18 m	角		方 向		地盤勾配		使用機種			ハンマー落下用具	
総掘進長	7.57 m	度						エンジン			ポンプ	

標高 尺	層厚 高	深度 厚	柱状 度	土質 状	土質 区	色調	相対 密度	相対 稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取 深度 試験番号	採取 方法	室内 試験	掘進 月日		
												深度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量 (cm)					深度 (m)	試験名 および結果
													0 10	10 20	20 30							
(m)	(m)	(m)	(m)																			

1	160.83	0.35	0.35		表土 (SF)	暗褐			上部腐植土、シルト主体。	02/09 03/11										
					粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐			礫径2から35mmの角礫主体。礫間粗中砂。粘土にて充填。含水比は高位。ルーズ。		1.15									
	159.88	0.95	1.30		砂混りシルト (M-S)	暗褐灰		中位	粘着中位となり、均一に少量の細砂混じる。有機物点在する。		1.67	3	1/42	4/52	2					
2											2.15	1	2/13	1/12	4/6	4				
	158.83	1.05	2.35		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗灰			礫径2から40mmの角礫主体。礫間粗中砂。粘土にて充填。含水比は高位。2.70m付近より暗灰色強く帯びる		2.46									
3											3.15				10/30	10				
	157.73	1.10	3.45		粘土質砂礫 (GSC)	暗茶褐			礫径2から40mmの角礫、風化礫主体。粘土分多い。		3.45	3	3	4						
4											4.15				29/30	29				
	156.93	0.80	4.25		風化頁岩 (Sh)	黒灰			全体に風化強く、亀裂部は粘土化、岩片状の主体。		4.45	5	10	14						
5					頁岩 (Sh)	黒灰			硬質な頁岩主体となり、色調は黒灰で状態は全体に亀裂多く、5から15cmの短柱状コア主体。コアに無数の亀裂やや多く入る全体に非常に硬質な岩であるが、亀裂部やや風化しており、若干の暗褐色帯びる。		5.00	50/8		50/8	>50					
	156.33	0.60	4.85								5.08									
6											6.00	50/5		50/5	>50					
										6.05										
7										7.00	50/7		50/7	>50						
								7.07	50/7		50/7	>50								
								7.50	50/7		50/7	>50						02/11		
8								7.57												